



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 静甲株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 鈴木 武夫 TEL 054-366-1106
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,957	4.2	35	216.9	81	96.7	20	442.8
2019年3月期第2四半期	15,314	3.0	11	△93.2	41	△80.5	3	△98.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 20百万円 (△64.8%) 2019年3月期第2四半期 58百万円 (△88.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.22	—
2019年3月期第2四半期	0.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	23,724	14,161	59.7
2019年3月期	23,562	14,192	60.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 14,161百万円 2019年3月期 14,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年3月期	—	13.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	8.00	21.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 2020年3月期の第2四半期末配当金につきましては、創業80周年記念配当5円を含んでおります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△1.3	350	△38.0	440	△29.6	270	△28.9	41.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

除外 1社 （社名）日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	6,483,323株	2019年3月期	6,483,323株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	52,504株	2019年3月期	52,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	6,430,819株	2019年3月期2Q	6,430,754株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米中貿易摩擦や中国の景気減速などを背景として、景気の下振れリスクに注意が必要な状況があります。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、電機機器事業及び車両関係事業は前年同期の実績を上回りました。一方、産業機械事業は大型機の売上が少なかったため前年同期の実績を下回りました。冷間鍛造事業も米中貿易摩擦や中国市場低迷の影響により前年同期の実績を下回りました。

これらの結果、売上高は、前年同期比4.2%増の159億5千7百万円となりました。

利益面では、経常利益は前年同期比96.7%増の8千1百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比442.8%増の2千万円となりました。

〔産業機械事業〕

包装機械は、主要な販売先である食品やトイレタリー業界をはじめとして、液体充填巻縮機等の小型・中型機及び改造工事・部品が堅調に推移しましたが、大型の液体充填ラインの売上が少なかったため前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比18.1%減の27億5千7百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比57.0%減の1億2百万円となりました。

〔冷間鍛造事業〕

米中貿易摩擦や中国市場低迷の影響により、自動車部品、産業機械部品は低調に推移しました。電動工具部品も前述の影響を受けましたが、国内向けの新規製品が量産開始となったためほぼ前年同期並みとなりました。これらの結果、売上高は前年同期比11.1%減の7億1千1百万円、セグメント利益（営業利益）は減収および生産高の減少に伴う工場操業度の低下により、前年同期比70.6%減の9百万円となりました。

〔電機機器事業〕

主力のFA関連機器が自動車関連など静岡県内製造業の需要により堅調に推移したことに加え、空調機器用部材、冷熱機器、設備機器も前年同期の実績を上回りました。一方、空調設備工事は前年同期並みで推移しました。これらの結果、売上高は前年同期比11.5%増の28億円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比40.1%増の2億2千7百万円となりました。

〔車両関係事業〕

新車販売は、新型車の投入がなかったものの、創業記念として特別価格モデルを設定するなど増販に努めたことで前年同期の実績を上回りました。また、中古車販売、輸入車販売、サービス部門も堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比12.2%増の96億2千7百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は1億3百万円（前年同期は2千5百万円の損失）となりました。

〔不動産等賃貸事業〕

売上高は前年同期比5.1%増の6千1百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比25.5%増の1千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、237億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6千1百万円増加いたしました。

この内、流動資産は119億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少4億3千5百万円、仕掛品の増加3億4千9百万円によるものであります。

固定資産は117億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千1百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定の増加1億6千5百万円によるものであります。

負債合計は95億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9千1百万円増加いたしました。これは主に、借入金の増加2億1千1百万円によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末とほぼ同額の141億6千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2019年5月15日付当社「2019年3月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,979,715	4,799,685
受取手形及び売掛金	3,583,848	3,148,283
電子記録債権	508,556	404,572
商品及び製品	1,571,134	1,518,316
仕掛品	1,068,438	1,418,390
原材料及び貯蔵品	22,550	25,941
その他	388,714	656,541
貸倒引当金	△18,501	△17,425
流動資産合計	12,104,456	11,954,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,596,712	3,608,427
土地	3,358,323	3,358,323
その他(純額)	1,529,185	1,833,594
有形固定資産合計	8,484,221	8,800,344
無形固定資産	169,203	177,128
投資その他の資産		
投資有価証券	2,353,419	2,363,540
その他	456,922	437,790
貸倒引当金	△5,250	△8,935
投資その他の資産合計	2,805,092	2,792,396
固定資産合計	11,458,517	11,769,869
資産合計	23,562,973	23,724,173
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,418,166	3,370,055
短期借入金	995,830	1,060,000
未払法人税等	115,153	57,714
賞与引当金	464,428	476,750
製品保証引当金	43,702	35,178
資産除去債務	8,000	—
その他	2,410,459	2,499,193
流動負債合計	7,455,740	7,498,891
固定負債		
長期借入金	922,511	1,070,013
役員退職慰労引当金	256,706	253,962
退職給付に係る負債	116,001	127,595
資産除去債務	110,906	118,173
その他	508,592	493,714
固定負債合計	1,914,718	2,063,458
負債合計	9,370,458	9,562,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,151,285	3,151,285
利益剰余金	10,014,927	9,984,197
自己株式	△28,631	△28,631
株主資本合計	13,237,581	13,206,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	954,933	954,972
その他の包括利益累計額合計	954,933	954,972
純資産合計	14,192,514	14,161,823
負債純資産合計	23,562,973	23,724,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	15,314,280	15,957,848
売上原価	12,434,656	12,937,725
売上総利益	2,879,624	3,020,122
販売費及び一般管理費	2,868,413	2,984,600
営業利益	11,211	35,522
営業外収益		
受取利息	690	709
受取配当金	35,450	38,235
その他	32,811	35,220
営業外収益合計	68,952	74,164
営業外費用		
支払利息	5,876	5,115
売上割引	19,982	20,079
和解金	10,000	—
その他	2,739	2,725
営業外費用合計	38,599	27,920
経常利益	41,564	81,767
特別利益		
固定資産売却益	224	1,677
投資有価証券売却益	110	—
特別利益合計	335	1,677
特別損失		
固定資産売却損	17	195
固定資産除却損	1,755	4,570
投資有価証券評価損	540	—
ゴルフ会員権評価損	—	3,675
特別損失合計	2,313	8,441
税金等調整前四半期純利益	39,586	75,003
法人税等	30,971	54,286
四半期純利益	8,614	20,716
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,797	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,816	20,716

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	8,614	20,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,309	38
その他の包括利益合計	50,309	38
四半期包括利益	58,923	20,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,617	20,755
非支配株主に係る四半期包括利益	6,306	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である日本機械商事株式会社（本社：東京都千代田区）を存続会社、日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）を消滅会社とする吸収合併を行いました。この結果、日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）を連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。